# あとがき

この書籍を書こうと思い立ったのは、60歳を過ぎたある日でした。

風水建築士として活動してきた私ですが、世間に注目されている職業でもなく、高い評価を受けているわけでもありません。

しかし、心の底から思ったのです。

「このままで終わると、私が描く風水×科学の融合の世界が訪れない」と。

風水という言葉は、今でこそ広く知られていますが、その多くは、占い的な軽視の中にあり、本来の深い思想や理論、自然との調和という本質は忘れられているように思います。

このまま放っておけば、風水は「過去の遺物」となっていくことでしょう。

それが残念でならないという想いです。

この本を書いたのは、自分のためだけではありません。

次の世代の風水師たちへ、科学者・建築家・不動産業界の方々、そして風水に関心がある多くの方々へ伝えたいことがあったからです。

風水は単なる迷信ではなく、宇宙観や環境哲学を内包した、人間の智慧の結晶であるということです。

本書では、それをできる限り冷静に、どちらにも片寄らず、「思想」として、そして「技術」として記録しました。

風水を学び始めたばかりの人も、長年関わってきた人も、何か感じ取ってくれることを願っています。

執筆には思いのほか時間がかかりました。

構成を考え、文章を練り、過去の記録を掘り返しながら、一つひとつ積み上げていき、時代の最先端ともいえる「AI」との対話も活用してみました。AIはもはや遠い未来の話ではなくなりました。

これからの時代、人とAIが協働してものを創ることは、当たり前になっていくことでしょう。

私のような「手探りの執筆」も、いずれ一つの先例になるかもしれません。

この本を閉じたとき、この本が一冊の灯火となって、未来のどこかで誰かの空間に“氣”を通す役割を果たしてくれることを、心から願っています。

風水とは、

生き方そのものに氣をめぐらせ、空間を通して未来をつくる技術です。

そしてこの本もまた、未来に向けた私なりの風水的な“設計図”となってほしいという願いです。

ここまで読んでくださったすべての方に、心より感謝申し上げます。

2025年7月

風水建築士　安藤尚尭

# 著者紹介

安藤尚尭　Naotaka Ando

風水建築士

三元玄空風水師（玄空飛星派）

四柱推命鑑定士

周易断易鑑定士

不動産・建築コンサルタント

宅地建物取引士

二級建築士

１９６３年生まれ。大学卒業後、大手不動産会社に入社し、土地の開発に携わる。

１９８８年　建設業界に身を置き、建築業界の各団体の理事を歴任。

現在、株式会社パルナスのＣＥＯ。不動産・建築コンサルタントに従事。風水理論を取り入れた風水建築プロデューサーとして不動産の選定、設計企画、施工管理などワンストップで新しい価値創造で空間プロデュースを行う。個人住宅、事務所・店舗など多くのプロデュース実績を持つ。

外部との連携では、弁護士・税理士・司法書士が集まる「日本相続事業承継研究所」のメンバーとして、相続対策のためのセミナーや講演で講師を務める。

風水・四柱推命・易学の専門家が集まる「立命塾研究会」を楳山天心老師と設立する。

ホームページ：<https://parnasse.jp/nao-ando/>

㈱パルナスのホームページ：<https://parnasse.jp/hp/>

問い合わせ：[info@parnasse.jp](mailto:info@parnasse.jp)